韓国の心理臨床分野における国家資格の現状

金奎卓(キムギュウタク)

1. 国家技術資格としての心理関連資格証

1) 臨床心理士(1･2級)

2) 職業カウンセラー(1･2級)

➽施行省庁:韓国産業人力公団

1) 臨床心理士 (1·2級)

- 人間の心理的健康及び効果的な適応を扱う
- 心理検査と評価、個人と集団カウンセリング、心理リハビリプログラムの開発と実施、心理的教育など
- 精神科病院、心理相談機関、社会復帰施設及びリハビリセンターで主に勤務、心理相談センター開業、社会福祉センター、学校など
- 2002年大統領令第19791号

1) 臨床心理士(1･2級)

❐資格基準(2級)

①臨床心理と関連して1年以上の実習修練を受けたもの、または2年以上実務に従事したものとして大学卒業者および卒業予定者

1) 臨床心理士(1･2級)

❐資格基準(1級)

①臨床心理と関連して2年以上の実習修練を受けたもの、または4年以上実務に従事したものとして心理学分野で修士課程以上の学位を取得したものおよび取得予定者

②臨床心理士2級資格取得後臨床心理と関連して5年以上実務従事者など

❐実習修練と実務経歴

実習修練	実務経歴	備考
心理学を専攻している大学３，４年生及び大学院在学と卒業者	大学及び大学院卒業者	
実習期間で定めた時間（保険加入は不要）	勤労契約を結んだ勤務時間（保険加入が必要）	４大保険
病院、相談センター（大学付設機関を含む）等	病院、相談センター（青少年相談センター、心理研究所）、矯正施設、福祉機関等	実務経歴の範囲が広い
心理相談、心理検査、心理評価、心理治療等の臨床心理関連実習	心理相談、心理検査、心理評価、心理治療等の実務	
スパーバイザーの指導	スパーバイザーの指導は不要	

❐実習修練と実務経歴

共通事項	卒業（予定）証明書
実習修練 確認書	❍国家及び公共機関実習修練者 ー実習確認書（実習修練機関長） ❍私設機関実習修練者 ー実習修練確認書（修練機関の長） ー事業者登録書コピ
実務 経歴書	❍国家及び公共機関実務経歴者 ー経歴証明書 ❍私設機関実務経歴者 ー経歴証明書（修練機関の長） ー４大保険加入確認書 （国民年金保険、医療保険、 雇用保険、労災保険）

1）臨床心理士（1･2級）

■試験科目（1級）

①筆記試験：臨床心理研究方法論、高級異常心理学、高級心理検査、高級臨床心理学、高級心理治療

②実技：高級臨床実務（試験時間3時間）

③回数：年1回

■試験科目（2級）

①筆記試験：心理学概論、異常心理学、心理検査、臨床心理学、心理相談

②実技：臨床実務（試験時間3時間）

1) 臨床心理士(1･2級)

- 合格基準:
  - 筆記:各科目40点以上、
    全科目平均60点以上
  - 実技:60点以上
- 試験手数料: ➧筆記18800ウオン(1880円)
  ➧実技:20200ウオン(2020円)
- 試験日程(1級): ➧筆記(2014. 09. 20.)
  ➧実技(2014. 10. 02.)

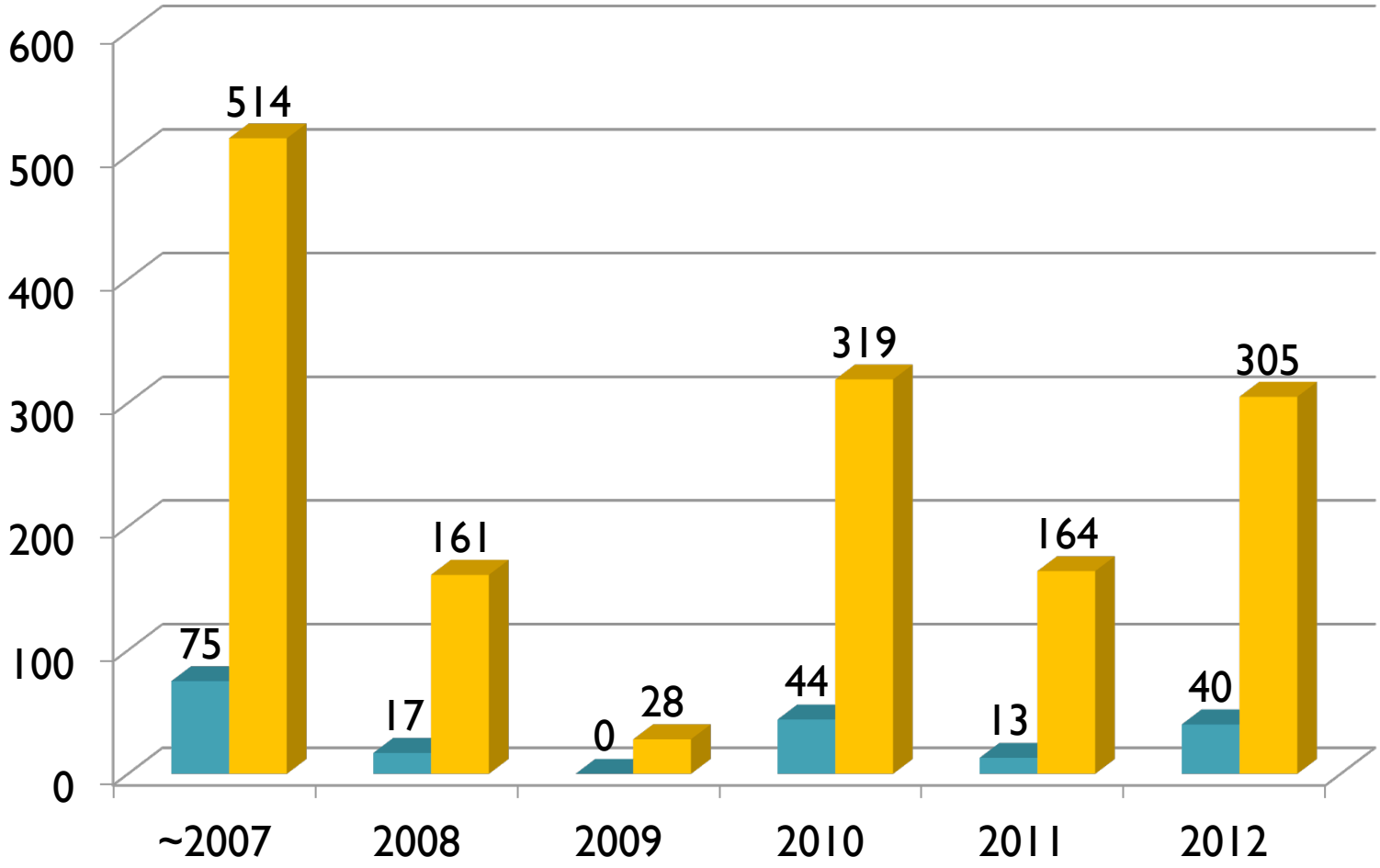
❒臨床心理士2級検定状況

種目名	年度	筆記			実技		
		志願者	合格	合格率	志願者	合格	合格率
2級	2013年	2,405	2,070	86.1%	2,136	770	36.0%
	2012年	1,475	875	59.3%	1,201	345	28.7%
	2011年	1,092	802	73.4%	1,037	177	17.1%
	2010年	900	785	87.2%	1,013	363	35.8%
	2009年	763	675	88.5%	814	28	3.4%
	2008年	622	589	94.7%	640	178	27.8%
	2007年	475	457	96.2%	490	311	63.5%
	2006年	293	266	90.8%	293	80	27.3%
	2005年	164	149	90.9%	209	77	36.8%
	2004年	164	150	91.5%	210	48	22.9%
	2003年	495	437	88.3%	328	73	22.3%
計		8,848	7.255	82.0%	8,371	2,450	29.3%

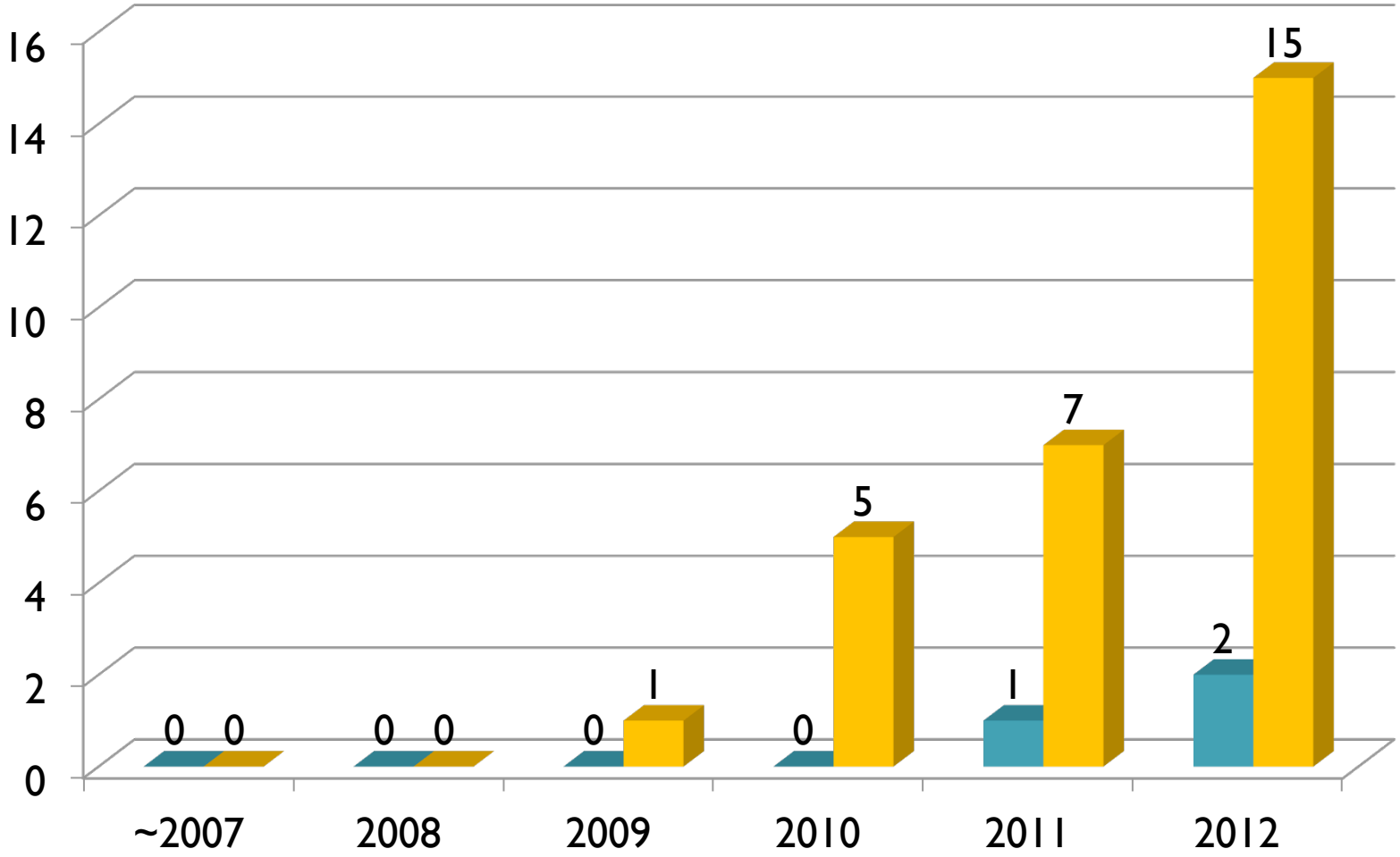
❒臨床心理士1級検定状況

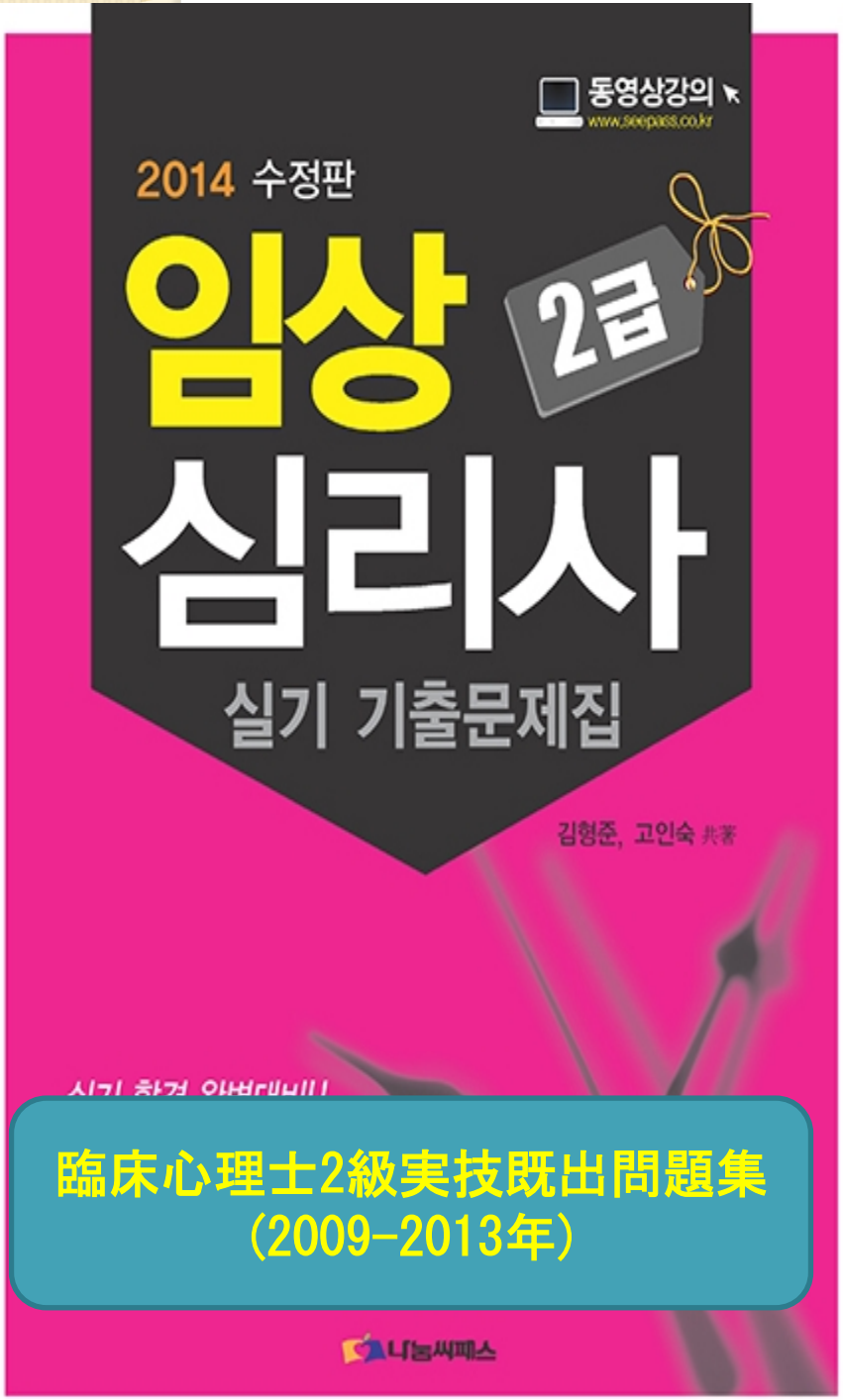
種目名	年度	筆記			実技		
		志願者	合格	合格率	志願者	合格	合格率
1級	2013年	166	47	28.3%	88	13	14.8%
	2012年	131	58	44.3%	89	17	19.1%
	2011年	118	54	45.8%	89	8	9.0%
	2010年	92	46	50.0%	55	5	9.1%
	2009年	186	24	12.9%	22	1	4.5%
計		693	229	33%	343	44	12.8%

臨床心理士2級（男女比率）



臨床心理士1級（男女比率）





臨床心理士2級実技既出問題集
(2009-2013年)

臨床心理室

軍隊徵兵心理検査場面

<징병검사의 첫 절차인 심리검사장>

2) 職業カウンセラー(1·2級)

- 相談業務、職業紹介業務、職業関連検査実施及び解釈業務(適性検査、興味検査)、職業指導プログラム開発と運営業務、など。
- 職業関連一般相談、求人求職相談、創業相談、経歴開発相談、職業適応相談、職業転換相談、引退後相談、など。
- 職業相談員採用し職業カウンセラー資格所持者優待する予定。
- 1999年大統領令第16572号

2) 職業カウンセラー(2級)

❐資格基準(2級)

①関連学科:大学等での心理学科、経営経済学科、法廷系列学科、教育心理学科などと他社会教育機関の職業カウンセラー課程及び私設学院

2) 職業カウンセラー(1級)

❒資格基準(1級)

①2級取得後、関連実務に2年以上従事した者

②関連実務に3年以上従事した者

③専門大学卒業後、関連実務に3年以上従事した者

④大学卒業後、関連実務に3年以上従事した者

2)職業カウンセラー(1･2級)

■試験科目(1級)

①筆記試験:高級職業相談学、高級職業心理学、高級職業情報論、労働市場論、労働関係法規（20問ずつ150問、150分）

②実技:職業相談実務(試験時間3時間)

③回数:年2回

■試験科目(2級)

①筆記試験:職業相談学、職業心理学、職業情報論、労働市場論、労働関係法規

②実技:筆答型(2時間30分)

③回数:年3回

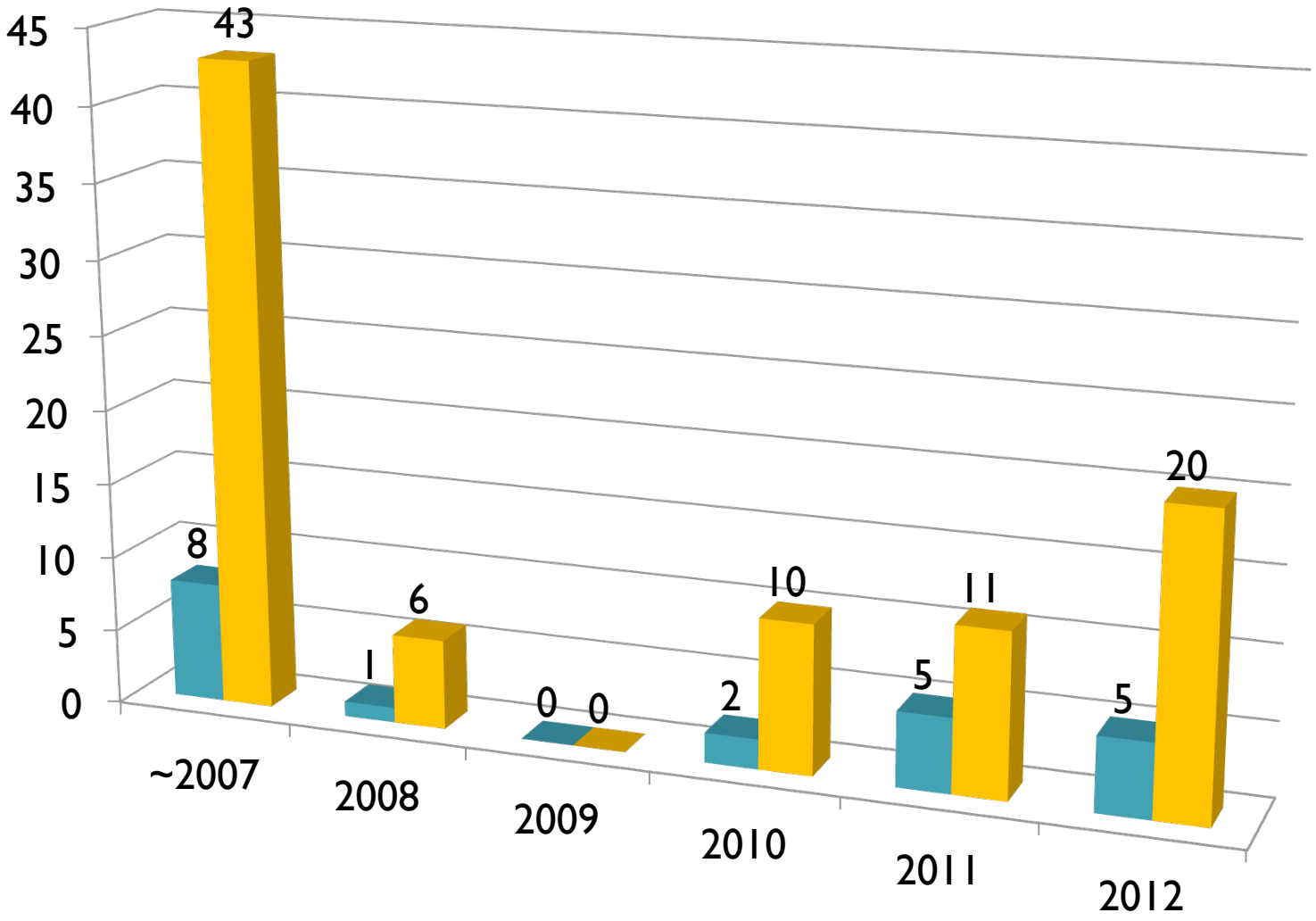
❒職業カウンセラー1級検定状況

	年度	筆記			実技		
		志願者	合格	合格率	志願者	合格	合格率
1級	2013年	212	83	39.2%	179	30	16.8%
	2012年	189	107	56.6%	163	25	15.3%
	2011年	137	69	50.4%	107	16	15.0%
	2010年	110	55	50.0%	75	12	16.0%
	…	…	…	…	…	…	…
	2004年	43	10	23.3%	19	0	0.0%
	2003年	67	15	22.4%	11	0	0.0%
計		1,176	516	43.9%	798	141	17.7%

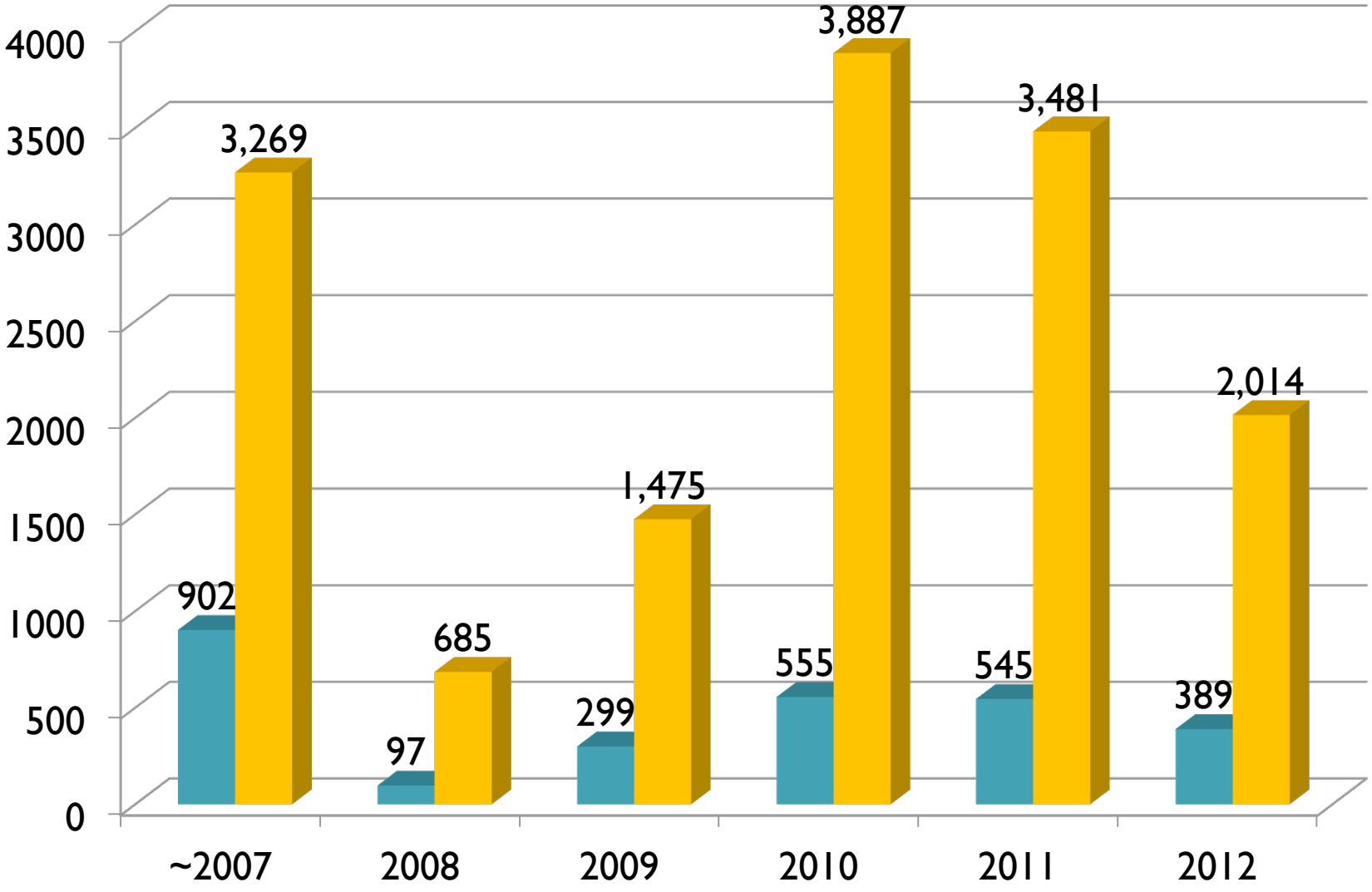
❒職業カウンセラー2級検定状況

	年度	筆記			実技		
		志願者	合格	合格率	志願者	合格	合格率
2級	2013年	21,202	9,991	47.1%	14,758	3,872	26.2%
	2012年	21,876	8,747	40.0%	14,047	2,403	17.1%
	2011年	24,676	11,653	47.2%	16.653	4,026	24.2%
	2010年	25,565	11,927	46.7%	16,083	4,442	27.6%
	2009年	12,540	6,247	49.8%	7,396	1,774	24%
	…	…	…	…	…	…	…
	2004年	770	231	30.0%	547	120	21.9%
	2003年	1,159	535	46.2%	679	100	14.7%
計		154,912	63,959	41.3%	89,493	21,470	24.0%

職業カウンセラー1級（男女比率）



職業カウンセラー2級（男女比率）



2. 国家専門資格としての心理関連資格証

1) 精神保健臨床心理士(1･2級)
2) 専門相談教師(1･2級)
3) 青少年相談士(1･2･3級)

1)精神保健臨床心理士(1･2級)

- 施行省庁:保健福祉部
- 精神疾患の予防と精神疾患の医療及び社会復帰などの業務を随行する専門知識と技術を持つ人力養成のため。
- 1995年12月19日精神保健法通過で 法的地位役割付与(1997年から資格制度)
- 全国修練課程:85課程(定員272名)(2010年)

-首都圏38課程(142名)、非首都圏47課程(130名)

1）精神保健臨床心理士（1･2級）

- 精神疾患者に対する心理評価
- 社会復帰施設の運営
- 精神疾患者と社会復帰を促すための生活訓練
  及び作業訓練
- 精神疾患者とその家族に対する教育
- 指導及び相談、精神疾患者の診断と保護申請
- 精神疾患予防活動及び精神保健に関する調査研究
- 他精神疾患者の社会適応及び職業再活のために
  保健福祉部長官が定める職務随行。
- 精神保健専門要員（公務員）、病院など。

1)精神保健臨床心理士(1･2級)

❒資格基準(2級)

①大学及び同じ学歴があると教育部長官が認める学校で心理学を専攻した学士学位以上を取得したもので保健福祉家族部長官が指定した修練機関で1年以上修練を終えたもの(1年1000時間以上)

②「国家技術資格法施行令第10条第1項」による臨床心理士2級資格所持者として保健福祉家族部長官が指定した専門要員修練機関で1年以上修練を終えたもの

1) 精神保健臨床心理士（1･2級）

❐資格基準（1級）

①大学院で心理学を専攻した修士課程以上の学位を取得したもので保健福祉家族部長官が指定した修練機関で3年以上修練を終えたもの

（毎年1000時間、総3000時間以上）

②精神保健臨床心理士2級資格取得後、精神保険施設、保健所、国家や地方自治団体から地域社会精神保険事業を委託された機関や団体で5年以上精神保健分野の臨床実務経験がある場合

③「国家技術資格法施行令」第10条第1項による臨床心理士1級所持者として保健福祉家族部長官が指定した修練機関で3年以上修練を終えたもの

1) 精神保健臨床心理士 (1･2級)

❐資格変更関連規定

①精神保健臨床心理士2級資格取得後、慢5年以上精神保健業務に従事した経歴があれば、別当の試験なしに保健福祉部の審査後1級へ昇級される。

②「国家技術資格法施行令第10条第1項」による臨床心理士1級資格所持者として保健福祉家族部長官が指定した専門要員修練機関で3年以上修練を終えたもの

❒精神保健心理士2級履修科目及び履修時間

理論	時間	実習	時間
個人心理治療1 心理評価1 精神社会リハビリ理論 面接技法 精神病理学(異常心理学) 精神薬物学　(150)	30 30 30 20 30 10	心理評価 個人/集団心理治療 精神社会リハビリ 個別事例分析 (830)	330 150 150 200

❒精神保健心理士1級履修科目及び履修時間

	理論	時間	実習	時間
1年次	個人心理治療1 心理評価1 精神社会リハビリ理論 面接技法 精神病理学(異常心理学) 精神薬物学　(150)	30 30 30 20 30 10	心理評価 個人/集団心理治療 精神社会リハビリ 個別事例分析 (830)	330 150 150 200
2年次	個人心理治療2 心理評価2 精神社会リハビリ理論 集団治療1 神経心理評価 地域社会心理学　(150)	30 30 30 30 20 10	心理/神経心理評価 個人/集団心理治療 精神社会リハビリ 個別事例分析 (830)	280 200 150 200
3年次	集団治療2 臨床心理研究方法 家族治療 小児青少年心理障害 老年期心理障害 心理的諮問　(100)	30 30 30 15 30 10	心理評価 個人/集団心理治療 精神社会リハビリ 個別事例分析 (880)	280 250 150 200

1)精神保健臨床心理士(1･2級)

■試験科目(2級)

①個人心理学治療Ⅰ、心理評価Ⅰ、精神社会リハビリ理論、面接技法、精神病理学(異常心理学)、精神薬物学

②合格:1科目60点以上、平均60点以上

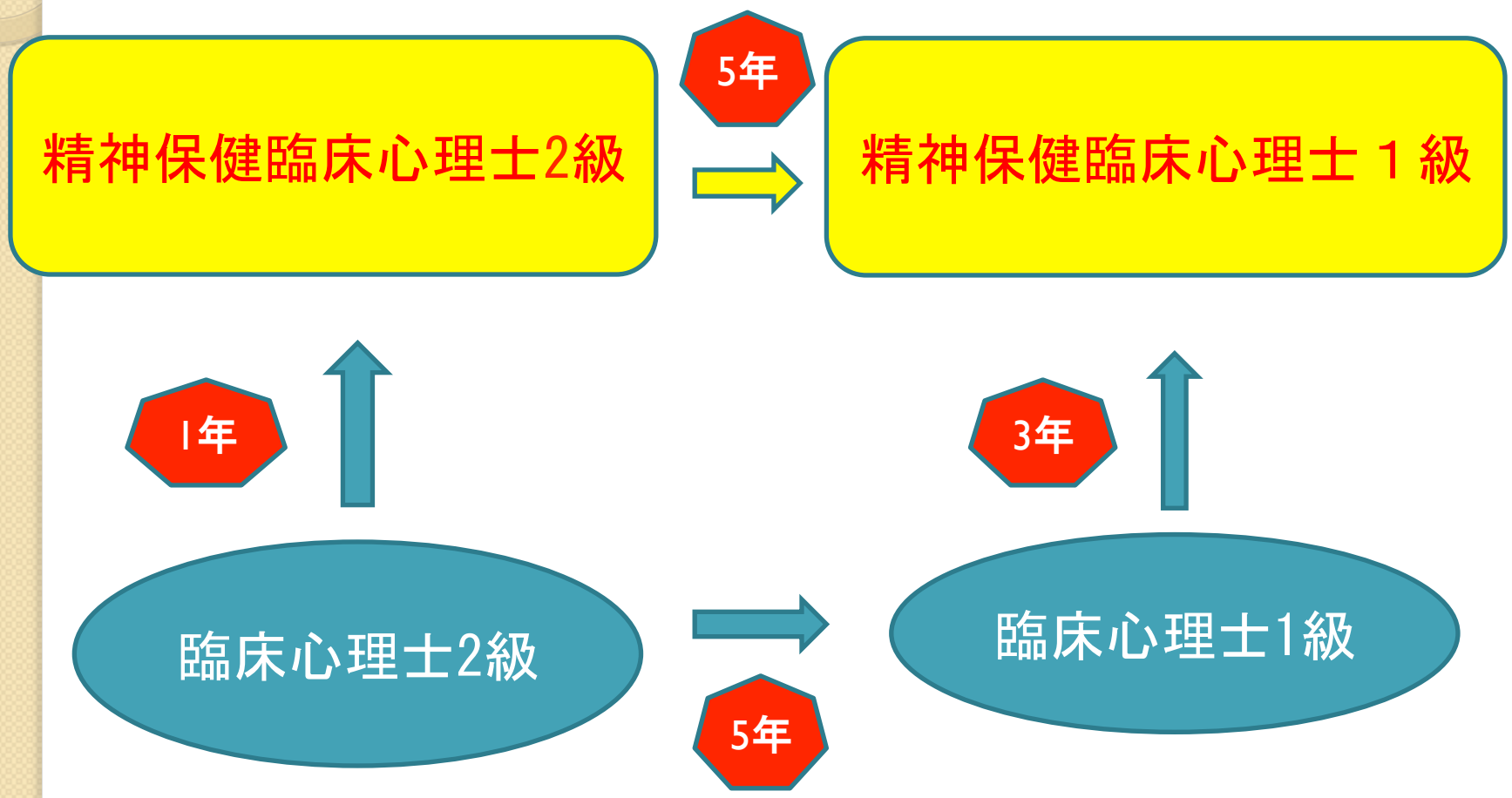
1）精神保健臨床心理士（1･2級）

■試験科目（1級）

①個人心理学治療Ⅰ、心理評価Ⅰ、精神社会リハビリ理論、面接技法、精神病理学（異常心理学）、精神薬物学、個人心理治療Ⅱ、心理評価Ⅱ、精神社会リハビリ実際、集団治療Ⅰ、神経心理評価、地域社会心理学、集団治療Ⅱ、臨床心理研究方法、家族治療、小児青少年心理障害、心理学的諮問

②合格：1、2、3年次各3科目平均60点以上
（18科目の平均60点以上）

■資格証の関係図



❦精神保健臨床心理士資格現状

年度	1級	2級
2013年	861	1461
…	…	…
2009年	581(59)	968(99)
2008年	522(56)	869(99)
2007年	466(53)	771(81)
2006年	413(44)	690(98)
2005年	369(43)	592(73)
2004年	328(42)	519(76)
2003年	286(28)	443(57)
2002年	258(26)	386(76)

❒臨床心理専門家勤務現況(2013)

地域	病院数	開業数	地域	病院数	開業数
Inchon	2	1	Daegu	3	6
Seoul	7	37	Chollabukdo	0	3
Kyonggi	7	8	Ulsan	2	1
Kangwon	2	1	Kyongnam	1	0
Chungnam	1	5	Busan	1	4
DaeJeon	2	1	Kwangju	1	5
Chungbuk	1	1	Chollanamdo	0	0
Kyongbuk	0	4	Jeju	0	1

3. その他

1) 心理関連国家資格

①青少年心理士1･2･3級
②青少年指導師1･2･3級
③7･9級矯正公務員（法務部特別採用）
　ー臨床心理士分野設定
④専門相談教師1･2級

2) 雇用と平均年収

①職業カウンセラー(2014. 6)

■勤務機関:(約2500箇所以上)

就職場所	ヶ所
国立職業安定機関	61
公共職業安定機関	281
無料職業安定機関	150
有料職業安定機関	1625
Head hunter	60
公共職業訓練機関	95
認定職業訓練機関	171
学校職業指導室	-
人力紹介会社	-

■年俸: 1800-3000万ウォン(180ー300万円)

②臨床心理士と精神保健臨床心理士

■勤務機関：精神保健施設「精神医療機関(1273)、精神養護施設(59)、社会復帰施設(232)：2011」、教育機関、青少年保護委員会、家庭法院、保護観察所、軍隊等多様

（政府や地域社会から専門的な力量を認められている）

■年俸(2014)：上位25%、4000万ウォン(400万円)

平均50%、3450万ウォン(345万円)

下位25%、2800万ウォン(280万円)

（常勤30名調査、韓国職業情報システム）

■満足度：93%

■仕事の展望：

増加77%、維持20%、減少3%

Ⅲ．展望と課題

1.展望

- ❒心理職に関する需要は増えていく(2013)
  - -韓国19才以上精神疾患者98万1157名(7.7%)
  - -うつ病(591,148名)、躁うつ(71,627名)増加
  - -老人うつ病9%、躁鬱は16%増加(年間)
  - -関心兵士20%以上(100名以上死亡、等)
  - -事故トラウマ、学校暴力等
- ❒心理職として働いている者の仕事に対する満足度が高い
- ❒心理専門家として認められるためには、臨床心理専門家、精神保険臨床心理士、臨床心理士の資格が必要
- ❒臨床心理士の役割と現場が広くなっている状況なので明るい展望だといえる

2. 課題

❒勤務条件や給料の面については、格差が大きいので国家的な支援が必要

❒学生や修練者が実習修練期間中に負担する金額を支援する方法の模索が必要

❒修練機関と実務機関の増やしていくこと

❒学会や政府機関との緊密な交流を通して、心理関連国家資格が活用できるような環境づくりが大事

❒修士課程は実務的な部分が不足、修練機関は研究部分が不足：両課程の均衡が必要(2013、臨床心理専門家修練生の自己報告)

❒精神科の医療報酬制度の改善が必要

　-支持療法(1220円)、集中療法(1928円)、深層療法(3200円)

　-外来週2回、入院週6回(3種類)、深層週2回

ご清聴ありがとうございます。